

個別事業費	300 千円
交付金額	150 千円

## 誰もが自分らしく生きる共同参画社会づくり講演会【兵庫県宍粟市】

### 地域の実情と課題

計画策定のため宍粟市において実施したアンケート結果によると、「夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである」という考え方について、年代が高くなるにつれて賛成の割合が高くなることから、依然として、固定的な性別役割分担意識が存在していることが伺える。また、家庭での役割分担について、夫婦同程度であることが理想であると回答している割合が高い一方で、現実では多くの役割を妻が担っている現状がある。

すべての人がともに仕事や家事、子育て、介護、地域活動に参加し、支え合う環境をつくるためには、固定的な性別役割分担意識を解消するとともに、仕事と家庭生活を両立することができるよう、職場や地域等、社会全体で子育てや介護を支えていくための取組が必要であり、令和4年度からは企業・事業所や市民団体、市民、自治会等を対象に男女共同参画社会の研修費用や啓発事業にかかる費用等を補助する制度を設けるなど、意識啓発の契機としている。

### 目的・目標

互いを尊重し、思いやりの心もち、性別等にとらわれることなく、だれもがあらゆる分野に参画し、ともに責任を担うことにより、自分らしく生きることのできる男女共同参画社会を実現するため、家庭や職場、地域等のだれもが男女共同参画について正しく認識できるよう、講演会の開催を通じて啓発活動を行った。

男女共同参画に関する講演会や出前講座等の実施回数  
R6年度目標8回開催 R5年度実績7回(本交付金以外の事業含む)

### 事業の特徴

女性の起業、就業等を支援するための男性の家事育児参画として、固定的な性別役割分担意識の解消と、ワークライフバランスの実現に向けた理解促進を図れる

### 連携団体

地元商工会との共催による開催  
イベント開催告知については、播磨科学公園都市圏域定住自立圏の中心市、構成町の広報紙にも掲載

### 事業の効果

参加者のアンケートでは、「子育ては終了しましたが、お互いの親の介護が徐々に私の妻と私にのしかかり、私は家事育児の際も妻にお任せで、今回の介護も妻に大部分を任せようとしていました。妻は結婚してから専業主婦であったことから、家事育児などの家庭の事は全て妻、仕事や地域との付き合い等は私の役割としてきたので、今回の講演で改めて自分の認識が間違っていたことに気づきました。」「共働きですが、子どものことで休むのは母親である私が当たり前のようになっています。私も夫も同じ働く者同士なのになぜ私ばかりが休むことになるの?と考えてしまいます。夫と話し合いをしてみます。」など、女性の起業、就業等を支援するための男性の家事育児参画の必要性を学ぶ機会となり、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた理解促進を図ることができた。

### 今後の課題

女性活躍推進のための男性の家事育児介護参画に関する講演会など、市民が学びの機会を得たいと思えるような社会環境、地域風土づくりをどのように推進していくか。

## 事業の概要

地元商工会との共催による「誰もが自分らしく生きる共同参画社会づくり講演会」を開催

「男性の家事が社会を救う」と題して、男性の家事育児参画により女性の働き方や社会活躍推進を図ることができることの内容で実施した

開催日：令和5年7月29日

場所：宍粟防災センター（兵庫県宍粟市山崎町鹿沢65-3）

講師：東京大学大学院 教授 瀬地山 角氏

事業目標参加者数50人のところ71人の参加であり、年代層が20歳代から50歳代が多数を占め、また、参加者の性別も男性が半数となり、女性の就業等を支援するための学びの機会としてバランスのよい参加者層であった。アンケートでも男性の家事育児参画の必要性を「理解できた」が大半を占めるなど、市民への理解促進を図ることができた。

